

事業所名		伊豆市児童発達支援センター		支援プログラム		作成日	2025年 1月 16日	
事業所理念		『互いに支え合いながら、誰もが住み慣れた地域で、安心して充実した暮らしができる』						
支援方針		発達に支援を必要とする児童に対し、活動を通して成長を促すとともに、育てにくさや発達に不安を感じる保護者への支援を行う。また、住み慣れた地域で安心して子育てができ、将来の見通しを立てられるようにする。						
営業時間		8：15から17：00まで			送迎実施の有無		なし	
		支援内容及び具体的な活動						
本人支援	健康・生活	食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りの清潔等、生活に必要な基本的な技能が身につくように支援する。健康で安全な生活を送るために、心身の変化を見逃さないよう、きめ細かく観察を行う。絵や文字を用いたスケジュールやタイムタイマーを活用したり、子どもにとって分かりやすい空間を工夫することで、見通しが持てるようにする。						
	運動・感覚	日常生活に必要な動作となる姿勢保持や上下肢の運動動作の習得が出来るよう様々な運動遊びを経験する場を設ける。 学校ごっこ（個別活動）では、指先の巧緻性を高めるため微細運動も取り入れる。 様々な感覚（視・聴・触・嗅・固有・前庭等）を十分に活用できるよう、遊びを通して支援する。						
	認知・行動	具体物や絵カードを使った課題を通して、物の機能、属性、形、色、大きさ等概念の形成を図る。一日の流れを視覚的に示し、見通しを持たせ、落ちついて活動できるよう環境を設定する。成功体験を積んで意欲的な取り組みにつながるよう、スモールステップの支援を行う。						
	言語・コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、指さし、サイン等を用いて意図の伝達ができるよう支援する。コミュニケーションを円滑に行うための人間関係づくり、場や相手の状況に応じたコミュニケーションが出来るよう練習する。						
	人間関係 社会性	動きを模倣したり、役割やルールを守って遊ぶ体験を通して社会性の発達を支援する。自分でできることや苦手なことなど行動の特性を理解し、気持ちや情動の調整が出来るように支援する。集団で生活するための手順やルールを理解し、他児との遊びや活動に参加できるよう支援する。						
家族支援（きょうだい児支援を含む）								
児童の成長をお互いに伝え合い、実態を共有し、支援方法を統一する。気軽に相談できる関係作りを行う。就学や福祉サービスに関する相談、情報を提供する。心理士との面談(兄弟・姉妹を含む)を年3回提供する（家族支援）。 にこにこDay(保護者の方同士の交流や情報交換)を開催する。 年に3回の参観日を設け、マジックミラー越しに支援の様子を観察したり、一緒に活動に参加したりする（子育てサポート）。								
移行支援					地域支援・地域連携			
年数回の併行通園児連絡会を開催し、情報共有及び支援内容の統一を図る。 小学校就学を見据えて、情報提供や学校等の見学調整を実施する。ライフステージが移行する際にも切れ目なく支援が継続できるよう関係機関と連携を行う。					併設する修善寺東こども園と交流を行う。自立支援協議会等へ参加する。 こどもの発達相談の入口としての幅広い相談(心理相談・言語相談・乳幼児総合発達相談等)に適切に対応し、必要に応じて適切な支援につなげる。			
職員の質の向上				主な行事等		一日の流れ		
定期的に児童の支援方法を検討する。提供する支援の質を確保するため、外部講師を招く等センター内研修を実施する。外部の研修に参加する。				各季節の行事／園外保育		朝の会／体操／学校ごっこ（個別活動）／外遊び／サーキット／給食 昼寝（年齢により）／パズルや折り紙／自由遊び／帰りの会		